

第8回 ふれあいステージ

初出場



連吟(謡曲)『橋弁慶』を発表する事となった今回、皆様初出場と言うこともあり、とても緊張されているようでした。しかし、日頃の練習の賜物!で無事大成功に終わる事が出来ました。御利用者様の顔からは安堵された様子が伺えました。

皆さん、おつかれ様でした。また、来年もがんばりましょうね。



ご利用者様からの一言

先生のお謡いを聞いていると、なんだか自分のお腹に力が湧いてきて背中が伸びていき、顔が上がっていくように感じます。とにかく先生の真似をして声を出してみよう、思いっきり大声を出してみようと頑張っているうちに時間が過ぎて、すんだ後は気分がすっきりしてきます。壁に貼ってある舞の写真を眺めているうちに華やかな舞台を見ているような、その中に自分もいるような気分になってまいります。この頃は何かやりたいという意欲が出てきました。出来ないと決め、放っていた習字の道具を出してみたり、やりかけていた手芸の道具を引っ張り出してみたり、楽しくなってきました。このような場を設けて下さいまして、楽しみを引き出して頂きました事を心から感謝いたします。有難うございました。

吉富 ハツネ様

お稽古が始まったきっかけは、昨年九月にお謡いを習いたいというご利用者様からの要望で始まり、現在、水曜日と木曜日にホーム長が先生となって行っています。今後もお謡いのお稽古は続きますので興味のある方は気軽に覗いてみてはいかがでしょうか。

